

安全報告書

2026年度

くま川鉄道株式会社

1. お客さまをはじめ地域の皆様へ

日頃よりくま川鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。

また、弊社事業に対しまして、ご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

令和2年7月豪雨で被災して以降、皆さまの温かいご支援と励ましにより、復旧工事を進めてまいりましたが、この度、令和8年9月に全線で運転を再開する運びとなりました。これもひとえに、関係者の皆さまのおかげであり、重ねて深く感謝申し上げます。

また、近年は少子高齢化による人手不足や自然災害の激甚化など、地域鉄道を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。しかし、私たちは公共交通としての使命を果たすべく、輸送の安全確保を経営の最優先事項に掲げ、今後もより一層、地域の皆様に「安心」と「信頼」をお届けできる鉄道を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保の取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからお声を輸送の安全に役立てたく、ご意見・ご感想などをお聞かせいただけますと幸いです。

くま川鉄道株式会社

取締役社長 永江 友二

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 基本方針

当社では、お客さまに安心してご利用いただくために輸送の安全確保を最優先とする意識をもって事業活動を実施しております。そのための基本的な方針として「経営理念」と「安全の綱領」を次のように掲げ、社長以下、全社員に周知・徹底し安全輸送に努めています。

【経営理念】

- ① 「安全」こそ経営の基盤、守り続けます
- ② 常に挑戦し続けます
- ③ 社会の変化に柔軟に対応し、地域社会に貢献します

【安全の綱領】

- ① 安全の確保は輸送の生命である
- ② 規程の遵守は安全の基礎である
- ③ 執務の厳正は安全の要件である

(2) 安全目標（2025年度まで）

区分	項目	内容
目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	有責事故 0件
	乗客の死亡事故	死亡者数 0名
	踏切の故障に伴う事故	発生件数 0件

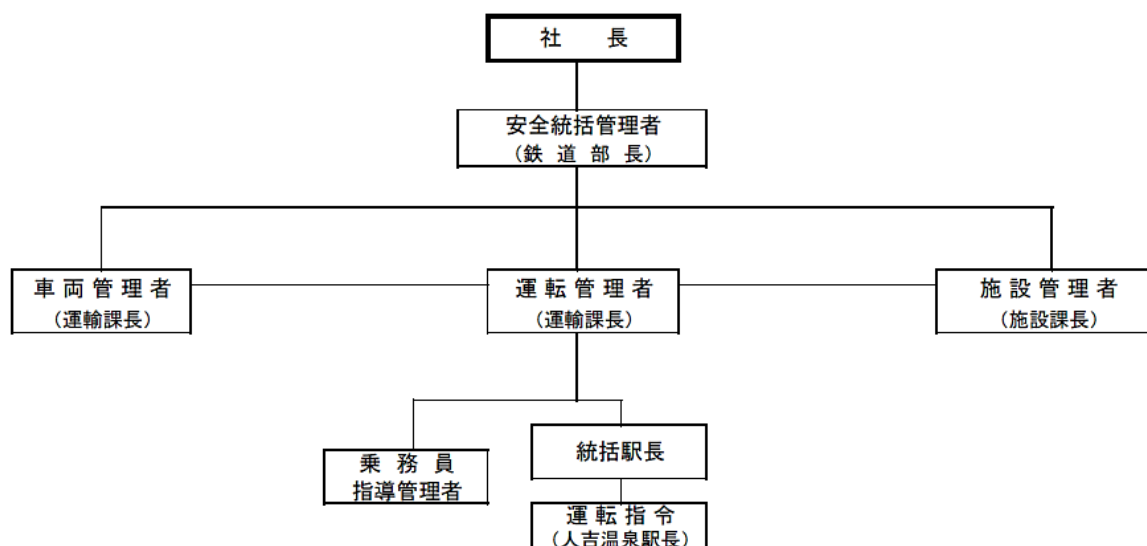
(3) 安全目標に対する実績（件数）

区分 \ 年度	2021	2022	2023	2024	2025
列車事故	0	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0	0

3. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築し運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他の管理者等がそれぞれの責務を明確にしたうえで安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転系の資質の保持に関する事項を統括する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

4. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄道運転事故

区分 \ 年度	2021	2022	2023	2024	2025
事故件数	0	0	0	1	0
死傷者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 災害（地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害）

2025年度は、自然災害の発生はありませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

項目	件数	特筆すべき輸送障害
自然災害等	2件	大雨により生じたもの
設備車両故障等	0件	
第三者障害など	0件	

(4) インシデント（事故の兆候）

2025年度は、インシデントの発生はありませんでした。

(5) 行政指導等

2025年度は、行政指導等はありませんでした。

5. 輸送の安全確保の取り組み

(1) 安全重点施策の概要

線路、電路、車両の定期検査等については、実施基準に基づき検査周期を超過しないよう確実に実施するとともに、要補修箇所への適切な修繕を行い、安全な列車運行の確保に向けた整備を実施しました。

また、乗務員及び駅係員への指導に係る事項として、添乗指導による基本動作の徹底状況確認や、列車発着時のホーム監視等の安全確認が適切に実施されているかの点検を行い、事故の未然防止に取り組みました。

(2) 人材教育・訓練

業務に関する知識技能の維持・向上を図るため、年間教育訓練計画を定めて定期的に教育訓練を実施し、列車等の運転の安全確保に努めています。

運転士については、自社で教育訓練を行っており、令和7年度は3名が甲種内燃車運転免許を受験しました。また、技術系係員は、OJT教育のほか、外部の研修会や講習会にも積極的に参加させ、知識と技術力の向上を図っております。

(3) 異常時対応訓練

11月5日の津波防災の日に、列車走行中に緊急地震速報を受信した際の異常時運転取扱いについて、列車の停止手配、乗務員と指令との連絡及び情報共有、指令から関係箇所への連絡・通報などの一連の手順を再確認するための訓練を実施しました。



(4) 踏切事故防止の取り組み

過去に事故が発生した踏切の警報灯を視認性の向上を図るため、片面形から全方向形に変更しました。また、定期的に踏切周囲の除草作業も実施し、事故発生リスクを減らすための取り組みも継続して行っています。



(5) その他の安全に対する取り組み

○鉄道テロへの対策

「鉄道テロへの対応マニュアル」を策定し、不審者、不審物の早期発見や現場係員の対応などについて、定期的に教育訓練を実施し危機管理意識の高揚を図っています。また、他社で実施された不審者対応実践訓練や護身術実践講習などの「テロ対処訓練」にも参加するなど、鉄道テロへの対応強化及び犯罪の抑止に努めています。



○線路内立ち入り等による鉄道事故の防止

春の全国交通安全運動時に、沿線等の小中学校及び市町村教育長に線路内立ち入りや置石を絶対に行わないことなどの指導、注意喚起を行っていただき、鉄道事故の未然防止に対して協力依頼を行いました。

(6) 安全のための投資・修繕

線路、電路及び車両などの鉄道施設設備の安全性の維持・向上のため、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業などを活用して、投資・修繕を計画的に実施しています。2023年度から2025年度までの3年間の状況（事業費）は以下のとおりです。

(単位：千円)

項目 \ 年度	2023 (実績)	2024 (実績)	2025 (実績)	2026 (計画)
線路関連			27,073	136,582
電路関連		17,916	43,790	145,618
車両関連	19,881		69,324	

※上記のほか、令和2年7月豪雨で被災した人吉温泉駅～肥後西村駅間で災害復旧工事を継続して行っております。

○レール交換（重軌条化）



○まくら木交換（P C化）



○踏切警報機、遮断機取替



○電柱建替



○車両検査（重要部検査）



6. 利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

（1）ホームにおける転落及び接触事故防止について

スマートフォン等を使用しながらの歩行（歩きスマホ）は、お客さま同士及び列車との接触やホームからの転落等のおそれがあり、大変危険です。ゲームやSNS等をご利用される場合は、他のお客さまの通行の妨げにならないよう安全な場所に立ち止まってからご使用い

ただようご理解ご協力をお願いします。

体の不自由な方、視覚に障害をお持ちのお客さまがホームから転落されてお亡くなりになる事故が全国の鉄道会社で発生しています。当社としましても、注意喚起やホーム等での見守りに努めてまいります。ご利用の皆さまにおきましても「声かけ・見守り」を行って頂きますようご協力をお願いしております。

(2) こども110番の駅

当社の人吉温泉駅、あさぎり駅では、「こども110番の駅」として、地域の子供たちを守るための取組みを行っております。

〔趣旨〕

- ①「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、フレンドリーな駅づくりを目指します。
- ②「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。

(3) 踏切事故の防止

《踏切を渡るときの主な注意事項》

踏切を横断するときには、必ず踏切の手前で一旦停止し、左右及び前方の状況をよく確かめて、安全を確認してから渡るようにして下さい。

踏切の警報機が鳴り始めたら、絶対に踏切内に入らないでください。大変危険ですので、列車の通過を待って安全を確かめてからお渡りください。

《踏切内でトラブルが発生した場合は・・・》

万が一、踏切内で脱輪やエンジントラブルなどで自動車が動かなくなったときは、すぐに車から降りて踏切の近くに設置されている「非常ボタン」を押すか、自動車内の発煙筒を使って接近している列車に自分の存在を知らせてください。

また、踏切で閉じ込められた場合でも自動車を動かせるときは、そのまま自動車を前進させて遮断かんを押し上げ、まずは踏切内から脱出してください。

《第4種踏切では特に注意が必要です》

当社には踏切警報機、遮断機が付いていない第4種踏切といわれる踏切が7箇所あります。踏切警報機、遮断機が付いている踏切と比べて、事故が発生すると多くの場合、生命にかかわる重大な結果を招きます。通行される際は、特に注意をお願いします。

(4) 沿線の除草作業について

当社の沿線である各市町村の地域の皆さまのご協力により、令和2年7月以降、定期的に沿線の除草作業を実施いただいております。当社社員も感謝の気持ちをもって一緒に沿線美化に取り組んで参ります。

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

くま川鉄道株式会社 本社	
TEL. 0966-23-5011	FAX. 0966-23-3897
E-mail info@kumagawa-rail.com	
■ 月～金 9:00～17:30(祝休日を除く)	